

科目名	栄養総合演習Ⅰ					開講 キャンパス	神 埼
担当者	山崎美津代・堀田 徳子・梅木 陽子・三隅 幸子・船元 智子・熊川 景子・緒方 智宏						
開講年次	3	開講期	通年	単位数	1	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	医療、福祉、教育、公衆栄養等の現場において、様々な人々の抱える健康・栄養上の諸問題を体験し、それらに携わる管理栄養士等の仕事に接する機会である臨地実習が円滑かつ効果的に実施できるよう、事前に基本的事項について概説する。						
授 業 の 到達目標	1) 臨地実習受講にあたっての心構えができ、実習目標を設定し、学習意欲を高める。 2) 管理栄養士の使命や役割、協働する関連職種との関わりについて説明できる。 3) 職域・地域における対象者の違いと実践されている栄養教育の内容について説明できる。 4) 時間の厳守、挨拶の励行、身だしなみ、自身の健康管理・衛生管理の徹底について、実際の行動で示すことができる。 5) 施設内でのマナー（電話の掛け方、報告と伝言の徹底等）・衛生管理システムの遵守等、基本的事項を守り、実際の行動で示すことができる。 6) 特定給食施設における給食の特徴を理解し、給食マネジメントの基本的な事項を説明できる。 7) 臨床における傷病者の病態や栄養状態の特徴に基づいた適正な栄養管理の方法、臨床栄養管理業務、チーム医療における管理栄養士の役割について基本的な事項を説明できる。 8) 公衆栄養活動の基本事項である、地域の健康・栄養問題に関する実態把握の手法、地域住民の健康、福祉、食育に係る業務、他職種、関係団体、地域住民組織との連携について基本的な事項を説明できる。 9) 業務日誌、報告書作成等の基本的事項を理解し、作成することができる。 10) 実習で学んだ知識と技術について整理し、報告や意見交換ができる。						
学習方法	講義、演習、グループワーク・発表						
テキスト及び参考書等	実習ノート、関連科目のテキスト						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	◎	◎	◎			40
授業態度			◎				10
受講者の発表	◎	◎	◎	◎			40
授業への参加度			◎				10
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	オリエンテーション（3年前期）						
第 2 週	給食管理；グループワーク・発表のオリエンテーション（3年前期）						
第 3 週	給食管理；グループワーク・発表（給食管理業務の実際①）（3年前期）						
第 4 週	給食管理；グループワーク・発表（給食管理業務の実際②）（3年前期）						
第 5 週	報告会（3年前期）						
第 6 週	学外実習におけるマナー（3年前期）						
第 7 週	臨地実習Ⅰの実習前オリエンテーション（3年前期）						
第 8 週	臨床栄養；グループワーク・発表のオリエンテーション（3年後期）						
第 9 週	臨床栄養；グループワーク・発表（臨床栄養管理業務の実際①）（3年後期）						
第 10 週	臨床栄養；グループワーク・発表（臨床栄養管理業務の実際②）（3年後期）						
第 11 週	臨地実習Ⅱの実習前オリエンテーション（3年後期）						
第 12 週	公衆栄養；佐賀県の健康づくり栄養対策（3年後期）						
第 13 週	公衆栄養；グループワーク・発表（保健所・市町村における健康づくり栄養対策①）（3年後期）						
第 14 週	公衆栄養；グループワーク・発表（保健所・市町村における健康づくり栄養対策②）（3年後期）						
第 15 週	臨地実習Ⅲの実習前オリエンテーション（3年後期）						
第 16 週							
備 考	臨地実習を受講する者は必ず受講すること。 また、事前学習として関連科目の復習を行い、受講後には臨地実習に向けて実習ノートや資料のまとめ、整理を十分に行うこと。						